

# 柳田國男 (やなぎた・くにお) 1875～1962

農政学者・民俗学者 ～日本民俗学の創始者・大成者～

**出生** 1875年(明治5)7月31日、兵庫県神東(しんとう)郡田原村辻川(現神崎郡福崎町辻川)に医師・漢学者松岡操の子として生まれる。家は貧しかった。  
**履歴** 東京帝国大学法科大学政治科卒業(1900)。同年9月から農商務省農務局農政課に勤務。1901年大審院判事柳田直平の養子となり、柳田姓を名乗る。1914年貴族院書記官長となるが、1919年辞任。官僚生活は20年に及ぶ。1920年朝日新聞社の客員、1922年社説を執筆する論説班員になる。1921年国際連盟委任統治委員。1930年朝日新聞社論説委員辞任。1951年國學院大學教授、同年文化勲章受章。

**事績** 官僚として20年間過ごし、うち前半は農政に関わる活動を行う。その根底には農村の貧困を克服したいという希望があった。しかしあまり理解されず、努力は挫折した。官僚時代からのちに民俗学と呼ぶことになる研究を続け、朝日新聞社論説委員を辞任後研究に専念する。その後全国的な調査を行ったり、機関誌『民間伝承』の刊行を開始した。1949年には日本民俗学会を創設し、その初代会長になった。

**評価** 日本民俗学を創設し育成したこと。民俗学研究者の育成と資料の収集を推し進め、日本民俗学の組織化と体系化を確立していったこと。文字資料によらない新しい研究方法の主張などにより、柳田の研究は高く評価されている。一方日本の植民地支配と柳田の研究との関わりなどから問題性を指摘する見解も出されている。

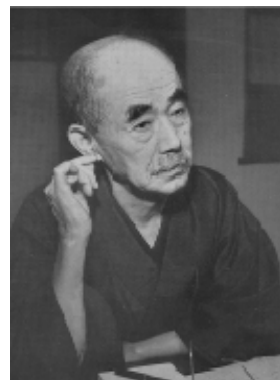
## 代表作

『海上の道』柳田國男最晩年の著作。青年時代に愛知県伊良湖岬の海岸で見た椰子の実から発想した仮説。日本人の先祖が日本列島へ渡ってきた経路を、大陸南部からまず沖縄に移住し、そこからさらに日本列島各地に広がったことを各地に伝わる民俗を資料にして主張した。定本第1巻に収録。

『遠野物語』岩手県遠野の佐々木鏡石の話を柳田が書きとめ、まとめたもの。119話で構成され、口頭伝承が内容になっている。物語となっているので、桑原武夫や三島由紀夫などが文学面から評価し広まった。その後吉本隆明が『共同幻想論』を展開する材料として使用し、民俗学や文学の書という領域を越えてしまった。定本第4巻に収録。

**キーワード** 常民 日本の村の大部分を占める「ごく普通の百姓」のことで、政治的語感がないものとして採用された。文献中心の既成史学に対して、文書に記録されない民間伝承を重視し、その担い手として常民を考えた。「柳田民俗学」の学問的性格を象徴する概念。

**最期** 1962年(昭和37)8月8日、老衰のため東京都世田谷区の自宅で死去。享年87歳。



濱谷浩撮影

## Great Works 12

### 定本柳田國男集 全36巻 筑摩書房 1962～1974年 <380.8/5>

**解題** 本定本集は、膨大な柳田國男の著作を、柳田の指示のもとに、自筆及び著者校訂のあった筆記原稿に限って収録した初めてのものになる。なお、同じ筑摩書房より全著作を収録する『柳田國男全集全38巻』が1997年10月から刊行されているが、2003年現在完結していないため、定本集を採用した。

## 内容

- 第1巻 海上の道 [筑摩書房 1961年] 海南小記 [大岡山書店 1925年] 島の人生 [創元社 1951年] 他
- 第2巻 雪國の春 [岡書院 1928年 東北地方の旅行記をまとめたもの] 秋風帖 [梓書房 1932年] 東國古道記 [上小郷土研究会 1952年] 【紀行文】樺太紀行 [1958年] 遊海島記 [1902年] 他
- 第3巻 北國紀行 [実業之日本社 1948年] 菅江眞澄 [創元社 1942年] 【紀行文】水曜手帖 [1910年] 他
- 第4巻 遠野物語 [聚精堂 1910年] 山の人生 [郷土研究社 1926年] 史料としての傳説 [村山書店 1957年] 妖怪談義 [修道社 1956年] 【論文】山神とヲコゼ [1936年] 山民の生活 [1909年] 他
- 第5巻 傳説 [岩波書店 1940年 伝説の「変化成長」の姿を多様な角度から論じた理論書] 一目小僧その他 [小山書店 1934年] 木思石語 [三元社 1942年] 他
- 第6巻 口承文藝史考 [中央公論社 1947年 「我々の祖先が何を信じ、いかに信じていたかを知る」のが目的の1つ] 昔話と文學 [創元社 1938年] 昔話賞書 [三省堂 1943年]
- 第7巻 物語と語り物 [角川書店 1946年] 笑いの本願 [養徳社 1946年] 不幸なる芸術 [筑摩書房 1953年]

- 他
- 第8巻 桃太郎の誕生 [三省堂 1933年] 女性と民間伝承 [岡書院 1932年] 他
- 第9巻 妹の力 [創元社 1940年] 女性の霊力や宗教性について論じている【論文】巫女考 [1913年] 他
- 第10巻 先祖の話 [筑摩書房 1946年] 日本人の靈魂観・死生観・来世観・他界観を体系的に論じる]日本の祭 [弘文堂書房 1942年] 神道と民俗学 [明世堂書店 1943年]【論文】人を神に祀る風習 [1926年] 他
- 第11巻 神樹篇 [実業之日本社 1953年] 氏神と氏子 [小山書店 1947年] 他
- 第12巻 石神問答 [聚精堂 1910年] 神を助けた話 [玄文社 1920年] 大白神考 [実業之日本社 1951年] 他
- 第13巻 年中行事覚書 [修道社 1955年] 新たなる太陽 [修道社 1956年] 月曜通信 [修道社 1954年] 他
- 第14巻 木綿以前の事 [創元社 1939年] 食物と心臓 [創元社 1940年]【論文】風呂の起源 [1915年] 他
- 第15巻 婚姻の話 [岩波書店 1948年] 家閑談 [鎌倉書房 1946年]【論文】農村家族制度と慣習 [1927年] 他
- 第16巻 時代ト農政 [聚精堂 1910年] 日本農民史 [刀江書院 1931年] 都市と農村 [朝日新聞社 1929年] 他
- 第17巻 民謡覚書 [創元社 1940年] 民謡の今と昔 [地平社書房 1915年] 俳諧評釈 [民友社 1947年] 他
- 第18巻 蝸牛考 [刀江書院 1930] 方言覚書 [創元社 1942年] 方言と昔 [朝日新聞社 1950年] 他
- 第19巻 國語の将来 [創元社 1939年] 西は何方 [甲文社 1948年] 毎日の言葉 [創元社 1946年] 他
- 第20巻 地名の研究 [古今書院 1936年] 小さき者の聲 [玉川学園出版部 1933年] 少年と国語 [創元社 1957年] 他
- 第21巻 こども風土記 [朝日新聞社 1942年] なぞとことわざ [筑摩書房 1952年] 火の昔 [実業之日本社 1944年] 村と學童 [朝日新聞社 1945年] 村のすがた [朝日新聞社 1948年]
- 第22巻 野草雑記・野鳥雑記 [甲鳥書林 1940年] 信州隨筆 [山村書院 1936年] 孤猿隨筆 [創元社 1939年] 他
- 第23巻 退讀書歴 [書物展望社 1933年] 老讀書歴 [実業之日本社 1950年] 他
- 第24巻 國史と民俗学 [六人社 1944年] 明治大正史・世相篇 [朝日新聞社 1931年]【論文】日本を知るために [1949年] 歴史教育について [1953年] 平凡と非凡 [1938年] 他
- 第25巻 郷土誌論 [郷土研究社 1923年] 青年と學問 [日本青年館 1928年] 郷土生活の研究法 [刀江書院 1935年] 民間傳承論 [共立社書店 1934年] 北小浦民俗誌 [三省堂 1949年] 他
- 第26巻 日本の昔話 [アルス 1930年] 日本の傳説 [アルス 1929年] 竹馬余事 [13歳の折の自筆詩文集で最初の著書] 他
- 第27巻 後狩詞記 (のちのかりことばのき) [非売品として自版 1909年] 中瀬淳による狩獵民俗誌と柳田執筆による序文と色々の口伝からなる共著本とも言うべき性格のもので民俗学研究開始を告げる書] 山島民譚集 [甲寅叢書刊行所 1914年] 一部未刊の自筆稿本] 他
- 第28巻 最新産業組合通解 [大日本実業学会 1902年] 農政学 [早稲田大学出版部 1902年]【論文】日本産銅史略 [1903年]【講義録】農業政策學 [1902] 専修大学での講義] 農業政策 [発刊年不明] 中央大学での講義]
- 第29~31巻 雜纂 ~
- 第32巻 別巻第一 朝日新聞論説集上 自大正13年7月1日 至昭和2年6月23日
- 第33巻 別巻第二 朝日新聞論説集下 自昭和2年7月1日 至昭和5年9月14日
- 第34巻 別巻第三 故郷七十年 (改訂版) [のじぎく文庫 1959年] 兵庫県出身の柳田が口述筆記せしめた自伝的内容の著作] 故郷七十年拾遺 [未発表の分]
- 第35巻 別巻第四 炭焼日記 [修道社 1958年] 大正七年日記・大正十一年日記 [晩年柳田自ら再読して、前書きを注記し、公表を認めたもの] 書簡他
- 第36巻 別巻第五 総索引 収録著作索引 書誌 年譜

## 参考文献 ~この人をもっと知るために~

< 図書 >

- 📖 柳田国男論集成 / 橋川文三著  
作品社 2002年 361p <380.1LL / 46> 資料番号 21532510
- 📖 柳田民俗学のフィロソフィー / 鳥越皓之著  
東京大学出版会 2002年 240,5p <380.1LL / 42> 資料番号 21468459
- 📖 柳田国男の民俗学 (岩波新書) / 谷川健一著  
岩波書店 2001年 244,2p <380.1KK / 39> 資料番号 21397955
- 📖 柳田国男とその弟子たち 民俗学を学ぶマルクス主義者 / 鶴見太郎著  
人文書院 1998年 255p <380.1HH / 34> 資料番号 21108782
- 📖 柳田国男事典 / 野村純一ほか編  
勉誠出版 1998年 827,69p <380.1 / 32> 常置 (相談室) 資料番号 21064563
- 📖 柳田国男 (新文芸読本)  
河出書房新社 1992年 223p <380.1AA / 15> 資料番号 20443321
- 📖 柳田国男伝 / 柳田国男研究会編著  
三一書房 1988年 1冊 <289.1X / 2622 / 1> 資料番号 20000477